

目次

目次	1
トップメッセージ	2
研究所紹介	3
特集1 2020年に向けたNTTの研究開発	4
特集2 環境に貢献する研究開発	
・次世代ネットワーク向け転送系システム 大容量ルーティングノード	6
・音声マイニングプラットフォーム	7
特集3 生物多様性に関する研究活動	8
特集4 法令順守と環境汚染予防	
・薬品管理支援システムIASO（イアソ）を用いた 化学物質の適正管理	9
2014年度 環境マネジメント報告	
概要／体制	11
環境方針	12
内部監査／ISO14001の維持	13
目標と実績	14
研究開発成果グリーンアセスメント／環境貢献度評価／ 研究成果物の情報公開	15
環境教育	16
環境負荷の全体像	17
2014年度 活動の報告	
省エネルギー活動結果／省エネルギーへの取り組み	18
自家発電した電力の利用	19
省資源活動／PPC用紙の使用量削減／再生利用水の活用／ グリーン製品の購入／その他の取り組み	20
環境汚染防止活動	21
廃棄物の適正管理活動	23
生物多様性の取り組み	25
コミュニケーション	
環境レポートの公開、情報公開	26
地域との交流	27
安全・衛生	
総合防災訓練	28
安全・衛生活動	29
ガイドライン対照表	30

環境レポート2015 発行の目的

本環境レポートはNTTの3つの総合研究所における

①研究開発成果による環境貢献活動

②研究開発の環境負荷低減活動

③地域貢献活動

について、お客様や地域の皆さまに情報を公開することを目的としており、NTTのホームページ(<http://www.ntt.co.jp/RD/environment/index.html>)に掲載しています。

報告対象範囲

サービスイノベーション総合研究所

情報ネットワーク総合研究所

先端技術総合研究所

ロケ所在地

横須賀：神奈川県横須賀市光の丘1-1

武蔵野：東京都武蔵野市緑町3-9-11

厚木：神奈川県厚木市森の里若宮3-1

品川：東京都港区港南1-9-1
東京都港区港南2-13-34

筑波：茨城県つくば市花畑1-7-1

京阪奈：京都府相楽郡精華町光台2-4

従業員数 2,965人

対象期間

2014年4月1日～2015年3月31日

参考にしたガイドライン

環境省 環境報告ガイドライン(2012年版)

GRI(Global Reporting Initiative) ガイドライン(第4版)

NTTグループ会社環境報告書作成ガイドライン

記述について

本環境レポートにおいて、「サービスイノベーション総合研究所」はNTTサービスイノベーション総合研究所を、「情報ネットワーク総合研究所」はNTT情報ネットワーク総合研究所を、「先端技術総合研究所」はNTT先端技術総合研究所を示しています。

そして、3つの総合研究所を称して、「三総合研究所」もしくは「三総研」としています。

さらに、「横須賀研究開発センタ」はNTT横須賀研究開発センタを、「武蔵野研究開発センタ」はNTT武蔵野研究開発センタを、「筑波研究開発センタ」はNTT筑波研究開発センタを、「厚木研究開発センタ」はNTT厚木研究開発センタをそれぞれ示しています。

ISO14001は、2004年に発行されたISO14001:2004を示しています。

本環境レポートに掲載した内容は、過去の事実だけではなく、発行時点における計画や将来の見通しを含んでいます。将来の活動内容や結果が掲載内容と異なる可能性があることをご了承ください。